

市民がつくる
市民が学ぶ
市民が拓く
生涯学習情報誌

Stage

月刊ステージ・アップ

up

'93

5

月号【1日発行】

無料

● 当事業団の新年度事業 中高年の学習に「市民アカデミー」



うつき



いまを話す

オランウータン研究の第一人者 鈴木 晃さん
猿の人の内的社会がまよる見え？

Stage Up 5月号もくじ/1993年

◆グループ紹介◆手作りで真心伝える手あみ研究会
喜びの顔思い浮かべ

学習・文化情報/会員募集 19

市生涯学習基本計画素案の市民討議

「なぜ、川崎では計画作るの？」 12

市教委の伊藤長和・前生涯学習推進担当副主幹

■ほんねインタビュー いまを話す ■
オランウータン研究の第一人者、鈴木晃さん 4

猿の研究で人の内的社会がまぐる見え?

〔市民企画講座〕

『自由民権運動』で小林孝雄さん 8

長尾村の井田文三、110年前に憲法意見書

『戦争の爪あと』で渡辺賢二さん 10

川崎は軍事・経済謀略の拠点

■当事業団の新年度事業■

中高校学習へ「市民アカデミー」など10本

グレンミラー・コンサートやサラタ記念日協奏曲 17

どくしゅの声/ミニニュース/編集後記 23

●表紙絵……うつぎ……田村文子さん

(小誌は再生紙を使用しています)



ヒナキキョウ

フィルハーモニック
ヴァルトゥオーゾ・ベルリン

& 吉野直子(ハープ)

日時——6月26日(土)午後2時開演

会場——麻生文化センターホール
小田急線新百合ヶ丘駅下車徒歩2分
☎951-1300

入場料——S席 5000円
(車いす席があります)
A席 4000円
B席 3000円

申し込み (財)川崎市生涯学習振興事業団
問い合わせ 麻生区万福寺1の2、新百合21ビル

☎ 952-5000

同事業団情報コーナー
川崎区富士見2の1、教育文化会館内

☎ 233-6250

◇チケット販売所 (好評前売り中)

(市民館)

▽幸 ☎541-3910 ▽中原 ☎722-7171
▽高津 ☎833-7411 ▽宮前 ☎888-3911
▽多摩 ☎935-3333 ▽麻生 ☎951-1300

●教育文化会館 ☎233-6361

(チケットぴあ) ☎03-5237-9990

▽小田急エルミロード新百合ヶ丘店

▽小田急町田店 ▽丸井町田店

▽まちだ東急百貨店新館

▽テコプラザ東急総合S.C. 青葉台駅

▽同S.C. あざみ野駅

▽多摩そごう

(チケットセゾン) ☎03-5990-9990

▽川崎西武 西友市ヶ尾店

▽西友鶴見店 下北沢駅前ベルモ

▽西友町田店 西友永山店

▽西友武蔵新城店

▽多摩センター・マグレブ

●Andanté Cofé(向ヶ丘遊園駅)

☎044-934-9872

●川崎音協(京急川崎駅そば) ☎222-3090

●北野書店(鹿島田駅前) ☎511-5491



手作りので愛と真心伝える

手あみ研究会

いづれも、いづれも

グループ紹介

「心を伝えるには手作りが一番」と「手あみ研究会」 桜井文代代表(75) 〓の会員二十人は金曜の午前、川崎区の労働会館で一針一

喜びの顔思い浮かべ 世界で一枚の作品を

針に愛情を込め、編み棒を動かす。「最初の一枚から着られる作品を」が同会のモットー。初心者でも、

コンピューターで計算された「編物割り出し表」を使うため、肩山、袷ぐりが綺麗に仕上がる。

また、マンツーマン方式の指導なので、第一作目からオリジナルデザインの作品ができるのも自慢の一つ。

流行や季節を考え、原形を描き「出来上がり」を思い浮かべ、一本の糸を自由自在に操る。手を動かしながら、会員同士がフランクに世間話を楽しめるのも魅力。

同会は、昭和五十八年に同館成人学級を修了した手編み愛好者が「みんなと楽しくおしゃべりしながら良い作品を作りたい」と、平成元年五月、自主グループとして会を発足させた。

かぎ針、棒針、アフガン編みが一般的だが、最近では手が不自由な人でも編み物が楽しめるように「魔法の一本針」という編み方も考案されている。

毎年二月、同館の「カルチャー祭」では、ファッションショーを開き高い評価を得ている。「手糸で編んだウエディングドレスは、す

てきなよ」と、同代表はうれしそう。

若桑美子さん(48)は「手編みの物を着た子供は不良にならない、というジンクスがあるんですよ。皆さんに作る喜びを知って欲しい」と入会を呼び掛ける。

ご主人のセーターを最初に編んだ柴田梅子さん(59)は「機械編みと違い、手編みは日なたぼっこをしながら編めます。生涯、学習できるような頑張りしたい」と笑顔。ファッションセンスに磨きをかける福岡美晴さん(40)は四年目。

「他人の作品を見ると刺激されます。今まで着たことのなかった色に挑戦しています」と話す。

同代表は「物質社会の現在、ショッピングした物を贈るのは簡単ですが、コッソツと物を作り上げることで、人に愛や心を伝えたい」と語る。

同会は随時、編み物に興味のある人の入会を募集。金曜の午後と、月曜の午前に会を開き、会員は都合に合わせて出席できる。

同代表宅は幸区古市場二一九〇、
☎5111-6936。

取材・松本成代
カメラ・田島志織



オランウータンの第一人者

鈴木 晃 さん

いまを話す

インタビュアー 安永 能美さん (「くらしの窓」
新聞記者)

Vol. 14



アフリカや東南アジアの森に大型類人猿を追って三十年。京大霊長類研究所・社会学研究部門の鈴木晃さんは、わが国のオランウータン研究の第一人者だ。綿密なフィールドワークを重ね、チンパンジーの子殺しや共食いというショッキングな行動を世界で初めて報告した。自然から、いかに学び取るか」をベースにした研究姿勢の成果にも「あの観察結果は、ほんの導入部」とさらり。「猿の社会学の研究は、人間社会の成り立ちや家族関係を考えるのに役立つ」と話す。また、アジアの熱帯雨林で進む効率・経済主義による自然破壊の現状に警鐘を鳴らす。インタビュアーは「くらしの窓新聞社」記者の安永能美さん。

湿度100%の森林で追跡調査10年

猿の
研究 人の内的社会、まろる見え?

——猿の研究を始めて三十年余りと伺っています。どのように研究されているのでしょうか。

鈴木さん 野生のニホンザルやチンパンジー、オランウータンといった類人猿を自然の森の中で追って、その生態を調べています。

——最初はニホンザルでしたね。鈴木さん 積雪地方に住むニホンザルが冬、どのように暮らしているかを調査しました。

——温泉に入る猿を雑誌やテレビで見たことがあります。

鈴木さん ええ(雑誌「ライフ」の表紙を見せながら)。一九六九年に志賀高原の地獄谷で撮った写真ですが、その七年ほど前からお湯に入っていましたね。

——猿が入浴するきっかけに何があったのですか。

鈴木さん 温泉に落ちた餌付けの大豆を子猿が食べようと、温泉に飛び込んだ。それを見て、次々に姉も、母親も飛び込んだ。新しい文化現象が、どう集団の中で伝わるか、僕も興味津々でした。

柔軟な頭脳のメス
頑固で保守のオス

——若い年齢順から……。

鈴木さん そうなんです。それにメスのほうに柔軟性を感じました。オスのオスは、今も絶対に入ろうとしない。オスのほうが保守的なのです。

——人間の社会と似ていますね(笑う)。ニホンザルの研究をしながら、アフリカでもフィールド調査をなさいましたが……。

鈴木さん アフリカではチンパンジーの生態を調べました。チン

鈴木 晃 さん

すずき・あきら＝1939年千葉県生まれ。京大大学院理学研究科修了。理学博士。京大霊長類研究所助手。(財)自然環境研究センター理事。国際霊長類保護連盟日本代表。大型類人猿の社会構造を浮き彫りにし、人間の起源、進化過程を考察する。著書に「雑食化への道」「夕陽を見つめるチンパンジー」など。多摩区生田の自宅に妻と一男一女。

子どもに薄情な母親だ 親離れ促す教育の参考に

パンジーは集団・群れで生活して

いますが、群れは不安定で、常に分かれたり、くっついたりしている。彼らの社会生活がどのような仕組みの中で成り立っているのか、調べてみると実に面白い。

——現地の調査はどのように？

鈴木さん チンパンジーはよく鳴くので、朝早くその場所に行くと一日中追いかけるのです。ところが、いま研究しているオランウータンは、あまり鳴かないし、毎日違う場所に巣を作るのです。

——追跡調査が難しいですね。

鈴木さん ですから朝、オランウータンが夜寝た巣を見つけ出し、一日中トレース（足跡をたどる）して、それを三十日、四十日と続けるのです。

——湿度百%の中で、お一人で調査しているのですか。

鈴木さん アシスタントに現地の人を二十人ほど雇って、他の個

体も観察してもらっています。

——オランウータンの調査地は、インドネシアのボルネオ島ですね。八三年から研究を始めて十年。どのようなことが見えてきましたか。

鈴木さん チンパンジーは集団生活ですが、オランウータンはオスもメスも子供もバラバラで、見掛けは単独生活者なんです。

——ほおー、母子関係もそうなのを物語っているのでしょうか。

のですか。

鈴木さん メスは自分の子をほとんどケアしません。枝から枝に移動する時、子どもは振り落とされないように、しがみついています。一見、薄情ですよ（笑い）。

——別の見方もできると……。

鈴木さん そうですね。強制的に子を引き離して親離れさせているとも考えられますね。（人間の）幼児教育の一つのパターンとして参考になりますよ（笑い）。

集団行動しないが 密に会い離れる……

——個々バラバラな生活は、何を物語っているのでしょうか。



樹木を飛び渡るオランウータン。子どもは親の首にしがみつくと（ボルネオで鈴木さん写す）

鈴木さん 欧米の研究者は、バラバラな行動から判断し、オランウータンに社会構造があることを認めない人が多かった。僕が日本人研究者の目で観察すると、オランウータンはムレ（群れ）ていなくても、かなり密に出会ったり離れたりに居るんです。居ると思っている相手が居ないと、あわてて探し回ります。

——別行動していてもお互いが避けているのではないと……。

鈴木さん 遠くで鳴く声に、別のオランウータンが応えたり、一見バラバラでも、全体で「まとまった社会」が見えるのです。

——面白いお話ですね。オランウータンは「森の哲学者」と呼ばれ、単独生活者だと思っていました。彼らの生態に、日本独自の位置付けをなさったのですね。

鈴木さん ええ。オランウータンの生態は人間に近い。スケールの大きな「内的社会」があるに違いないとのイメージ試論を九〇年に僕が学会で発表しました。その後、欧米の研究者の見方も変わってきました。

——ほおー。

鈴木さん 「内的社会イメージ」

過剰伐採のボルネオ島保護区

木の実無く生息数激減

は、これからの研究テーマの一つなのです。人間の進化や社会の成り立ち、家族関係、夫婦生活を考える上で重要ですから。

——猿の社会から教わること、多いですね。ところで、猿の研究を始められたきっかけは……。

鈴木さん 子どものころから生き物、特に虫が好きで、高校時代



はチョウに興味を持ちました。チョウ類研究家の故・磐瀬太郎先生の著書「さまよえるウラナミシジミ」を読んで、勉強そっちのけでチョウを追っていました。

——ご両親も動物好きでしたか。
鈴木さん 父が動物や虫の研究

家と交流があり、家にいろいろな生物図鑑がありました。高校以来、磐瀬先生に直接、指導していただき、生物研究の魅力や研究上の仮説のたて方などを学びました。

——その後、猿に関心を?

鈴木さん 去年、九十歳で亡くなった今西錦司先生の著書「生物社会の論理」に感動、触発されてサルの勉強を始めました。猿学のパイオニアで、登山家としても足跡を残された今西先生と一緒に行動し研究できたことは、何にも替え難い経験です。

猿学の先駆者と行動し研究する

——いま、地球規模での自然破壊が問題になっています。オランウータンの調査地ボルネオ島は、いかがでしょうか。

鈴木さん 僕の調査フィールドは、島の東部「カリマンタン・ク

タイ保護区」で、九州と同じ面積の所なんです。僕が現地入り前の八三年に山火事がありました。七〇年代に森林伐採をし過ぎて、森が乾いてしまったためです。
——森林は、水を豊かに溜める水源とも言われていますよね。

森が乾いて山火事 植林も焼け石に水

鈴木さん 火事の後、植林プロジェクトをつくり、植樹をしますが、一度失った豊かな森は、容易に取り戻せないのです（しみりと）。

——当然、オランウータンの生活にも影響が出ますね。

鈴木さん もちろんです。木の実が無くなり、木の皮まで食べていますよ。生息数は十五万頭との推計がありますが、僕が実際に調査してみた実感は、せいぜい三万頭です。

——保護を真剣に考えないと。

鈴木さん 切実な問題です。クタイ保護区は八五年から国立公園に指定されましたが、隣接周囲の開発が激しいのです。石炭会社の大開発で、露天掘り石炭をベルトコンベアーに乗せ十三キロ先の東

海岸まで運ぶのですが、土砂が流れ出し、川も汚染されています。
——現地の人々の生活に影響があるでしょうか。

隣接周辺で大開発進み 現地の人の生活に影響

鈴木さん 彼らは「焼き畑を失って生活できない」と嘆いています。石油や液化天然ガスの開発も盛んで、広大な原野に、開発に携わる人達の住宅が建ちニュータウンができています。

——現地の人は雇用してもらえないのですか。

安永 能美 さん

やすなが・よしみ=1949年埼玉県飯能市生まれ。高校卒業後、社会人に。働きながら勉学の意欲に燃え、20歳で立命館大に入学。中退後、小田急・田園都市線沿線のカバーする「くらしの窓新聞社」記者。町の話から選挙報道、平和・環境問題まで、地域に密着した記事を送り出す。川崎に住んで13年。多摩区宿河原の自宅で猫3匹と暮らす。



鈴木さん 「そこでは働きたくない」と言っています。日本人の感覚では「就職先が増えたのだから」でしょうが、彼らは「貧しくても森林の中で働き、今まで通りに暮らしたい」のです。動物や植物への愛情は並大抵のものではなく、頭が下がるほどです。

——本場にそうですね。

木材やLNGの 輸入先はわが国

鈴木さん 「そこでは働きたくない」と言っています。日本人の感覚では「就職先が増えたのだから」でしょうが、彼らは「貧しくても森林の中で働き、今まで通りに暮らしたい」のです。動物や植物への愛情は並大抵のものではなく、頭が下がるほどです。

——本場にそうですね。

鈴木さん ええ（うれしそうに）。彼らは実によくやってくれていますが。動物の習性はもちろん、百種類の木の名前を知っている。僕らがオランウータンに出会うと口笛を吹いて「交信」したり……。

——餌で人間に慣らす「餌付け」ではなくて……。

鈴木さん 「人付け」ですね。餌を使わなくても、僕らが「自然と一体化」することで動物は安心します。僕らが近付いても逃げませんよ。けれど、観光客と一緒だと姿を隠すことが多いですね。

——それだけ現地の人達とオランウータンとの信頼関係の絆が強いのですね。

鈴木さん 九〇年に、私が帰国する際、アシスタントに「来年、ボートが必要」と製作費のお金を渡したのですが、現地に行けたのは去年暮れでした。豊かな生活ではないので「ボートは売られて、無い」と思っていました。ところが、

野生保護のシステム作りを

小屋に置いてきた荷物もボートも、ちゃんと保管してありました（感激の面持ちで）。

——鈴木先生は、どのような現場の人の信頼を得たのでしょうか。

鈴木さん さあ。（少し考えて）僕は現地に行く時、お米だけを持って行き、おかずは川で釣った魚です。すると「あなたは自分たちと同じものを食べる」と共感してくれます。現地の方は、僕の大切な仲間なんです。

——動物にも現地の人にも、同じ目の高さで接していますね。

鈴木さん 僕自身の研究も大事ですが、地下資源開発による現地の人達の生活や動物への影響がとても心配です。

——密猟はあるのですか。

鈴木さん 増えていますね。保護したオランウータンをリハビリしていますが、野生に戻れる対応になっていません。いま、緊急に求められているのは「密猟を防ぎ、

野生の状態のまま保護するシステム作り」です。

——世界中で考えなくてはいけない問題ですね。

鈴木さん 次世代の研究者を育てるためには、新しい発想によるインターナショナルな組織作りが必要だと痛感しています。

——日本政府のこの面での貢献が期待されますね。先生はゴールデンウィーク明けに、現地に渡られるそうですね。

自然、開発考える 市民の活動に期待

鈴木さん 今年は何回も行くことになりそうです。僕は、日本にいると自分が住む川崎の自然が気になります。多摩川の汚染、多摩丘陵の開発……。身近な自然に、住民が強い関心を持つことが大切ですね。自然や開発を考える市民グループの活動と、それが行政の施策にどう反映されるか、見守っていきたいと思っています。

——きょうは、動物好きの私に興味深いお話、ありがとうございました。

（題字は高橋 清・川崎市長。構成 家村かをる。文責 田中 圀）

当事業団主催、市民企画講座の今号の紹介は「川崎、むかし、いま、明日―歴史と探訪」の中から川崎地域史研究会会長、小林孝雄さんの「自由民権運動と川崎―明治国家と闘った無名の人々」▽法政二高の渡辺賢二教諭の「わが町の見る戦争の爪あと―登戸研究所と川崎」の二講座の要旨を掲載する。明治・昭和という歴史的に身近な時代にあつて、川崎の先進的人々はその時代をどう生きたか。また、太平洋戦争の暗部と川崎とのかかわりは……。受講者が息を殺して聴き入った講座だった。

自由民権運動と川崎 川崎地域史研究家・小林孝雄さん

川崎、むかし・いま、あした

長尾村の井田文三 110年前に憲法制定意見書

明治維新後、近代国家を目指す日本国内は、混迷の真っ直中にあつた。この中で、近代のあけぼのを郷土「川崎」が、どのように迎えたか。明治政府と闘った川崎の無名の人々の偉業について、講師の小林孝雄さんは自由民権運動を中心に話した。小林さんは、近代日本史が専門で、川崎市史編纂委員、川崎地域史研究会会長の要職

を勤め、地域民衆史の造詣が深い。

倒幕後の明治政府の指針

「脱亜入欧・国権第一」

約三百年続いた徳川幕府は薩摩、長州、土佐、肥前の各藩下級武士の倒幕運動によって崩壊した。新しい明治政府ができたが、近代国家日本の進路について迷った末、「脱亜入欧」（文化・経済・政治の後進国・アジアから脱出し、先進国・仏、英、米に仲間入りする）と「国権が第一」の指針を定めた。富国強兵、殖産興業、文明開化と分かりやすいスローガンを掲げ、国民に呼びかけた。

民権派「アジアの国々との対等外交で近代国家造り」

この明治政府の方針に反対し、「遅れているアジアの国々と対等の立場で手を携え、自分たちの力で、新しい近代国家造りこそが、これからの日本の進むべき道だ」と主張したのが民権派だった。明治初期の「国権か、民権か」の論争は、全国の町村にいたるまで展開された。明治九年には、政府に不満を持つ士族たちが反乱、「萩の乱」（山口）、「神風連の乱」（熊本）が起きた。明治十年には西郷隆盛らによる西南戦争が

あり、翌年、大久保利通らによって平定された。この直後、大久保は暗殺され伊藤博文、山県有朋らがこれを継ぎ「脱亜入欧」＝国権第一の指針が確立された。

板垣退助ら「国民の国政参与権」を主張

一方、板垣退助、江藤新平らは明治七年「納税者の国民は、国政に参与する権利があり、民選議院を設立すべき」と民選論を唱えた。その後、土佐の立志社など民権結社が、各地で結成された。

一部士族のこの運動が、地租軽減を求める豪農と結び付き、国民に窓口を開けない政府に突き付けたのが「自由民権運動」で、全国的運動へ広がり同十三年には、どの町村でも民権が叫ばれていた。当時の村は、名主（戸長）、年寄、百姓代（名主を監視する農民代表）の村三役（役人）によって管理運営され、これら指導者を中心に民権運動が進められた。当時は、都市部より農村にインテリが多く、同十四年には「五日市憲法草案」が、山村の東京都西多摩郡五日市村の民権派によって作られた。現在、全国で二十数種類の民衆憲法



小林孝雄さん

草案が発見されている。

明治初期、川崎の中心は「溝ノ口」

当時、川崎は橘樹郡に属し、その中心は、矢倉沢街道（現・国道246号）の溝ノ口だった。その最大の商家が、醤油造りの「稲毛屋」で、年間八百五十石（千五百三十石）の醤油を醸造、百十石（年間百十人を養える）の田畑を所有していた。

私（小林さん）が昭和三十年代に資料収集のため、川崎全域の旧家を尋ね歩いた時、溝ノ口から最も多くの記録が出てきた。この時稲毛屋で明治十三年二月から同二十年十二月までを記録した「上田正次日記」を発見した。稲毛屋の当主は代々、上田安左衛門を名乗り、江戸時代からの旧家で当時は戸長も勤めていた。

民権運動の活発地は神奈川、三多摩だ！

正次は二男で、八代目を継ぐが、日記には十七歳から八年間の生活記録が克明に記されていた。これによると、全国の自由民権運動の中で神奈川、特に三多摩（一部は

明治二十六年に東京に編入）が最も活発で、南多摩の原町田と鶴川がその拠点だった。上田家にも三多摩の民権の最高幹部の石坂昌孝や村野常右衛門、長尾の井田文三、東京の民権ジャーナリストらが集まり、地元民と活発な討論会を開



目を輝やかせ、ふるさとの先駆者の闘いの歴史を学ぶ受講者

き、政府の国権に対し民権を主張する様子が詳しく書かれている。

武蔵六郡懇親会開き 神奈川の結社盛んに

民権運動は、郡区町村制となった明治十三年に府中で「第一回神奈川・武蔵六郡懇親会」が開かれ、この懇親会で神奈川の運動が一つにまとまり、参加者が各地域に戻り、結社づくりが盛んになる。同十四年に、最大規模の武相懇親会、同年二月には、溝ノ口の桜鶴楼で「橘樹郡親睦会」が相次いで開かれている。

井田文三は、長尾村の戸長・井田勘左衛門の子で、黒船来航の嘉永六年生まれ。十五歳に明治維新を迎え、二十歳代には東京の塾で漢文、英語、時事を勉強し、民権派リーダーになり、溝ノ口で政談演説会を開くなど活躍。「神奈川検地論」や「憲法制定の意見書」「憲法は何人に任かし議定せしむべきか」の論文を残している。

文三の周りには山根喜平、新井市左衛門、井田啓三郎、鈴木久弥ら同年代の仲間が大勢いた。山根の祖父は江戸時代の学者で、山根は民権運動に私財を注ぎ込み没落

した。啓三郎はその後、自由黨員として活躍するが、向ヶ丘遊園の土地を小田急に売る。新井家は、長尾の旧家で現存し土蔵も残っている。

地域の教育に尽力 長尾村の鈴木久弥

鈴木久弥は、旧姓・原藤蔵とい、鈴木家の養子。英語を教わった相良利夫を旧長尾小の初代校長に迎え、地域の教育に尽力。文三とは無二の親友だった。このほか、生田の戸長・河合平蔵は、同運動の指導者で有名な俳人。三百首の木版刷り句集が残されている。

このように当時の溝ノ口、長尾は川崎の中心だったが、大正、昭和に逆転した。

地域掘り起こし 歴史から学ぼう

私たちは戦後、主権在民、自由平等の憲法を持ったが、約百年も前に、五日市憲法草案や文三の憲法制定の意見書など、立派なものを作られた。これから、歴史を学ぶ上で「地域を掘り起こす大切さ」を改めて痛感した。

（担当・伊藤てるよ）

川崎、おかし・あした
いま

わが町に見る戦争の爪あと 渡辺賢二・法政二高教諭

農地奪われ 軍事都市に 毒殺・経済謀略の拠点

「わが町に見る戦争の傷跡」の講師、渡辺賢二さんは、法政二高で二十五年間、日本史を教えている歴史の先生。同校友友会教育研究会会長で、川崎地域史研究会員でもある。

昭和の初めの川崎は、大工場といえは、富士紡績と味の素ぐらいだった。重工業都市に変身したのは同五年ごろから。その前年、全国に吹き荒れた昭和恐慌のため、「合理化」を進めた各工場で、争議が起きた。この苦況の中で、国が軍需産業促進に政策転換をし、その都市づくりのためだ。

この第一の特徴は、化学肥料部門の進出（昭和肥料）。第二は臨海工業地帯に軍需産業の進出（三菱加工機、日本鋼管、日本冶金）。第三は内陸部に水を必要とする電気関係の進出（東京電気、富士電機、東京航空計器、古河電工）。

近郊農村地帯だった内陸部は、この時期に一大変化した。「川崎農協三十年史」には、「日中戦争の後に次々大工場が進出。昭和十二年に日本発条、翌年に三菱重工と矢継ぎ早の速さ。農地は半分に削られ、北加瀬は帯のような細長い地形となった。鹿島田では地主が、

国の要請に依って兵器増産のため、無条件で農地を差し出すことを強制された」と書かれている。つまり、川崎は国家的な軍需産業の都市づくりの一環として形成されたのである。

大東亜共栄圏の
生産拠点・川崎

これに対して、行政側はどうだったか。昭和九年、中屋重治市長はラジオ演説で「全国六位まで伸びた工業生産額を誇るとともに臨海地帯や大師理立地にますますの

事業の発展拡張を待望する。半面、非常時には空襲の危険性から防空体制の確立」を強調して、積極的

に軍需産業の受け入れを望んだのである。昭和十五年に「愛市行進曲」が作られ、大東亜共栄圏の生産拠点としての川崎が位置付けられ、工業化がさらに発展した。

時を同じく進められたのが、町村合併と水源確保だった。昭和八年の武蔵小杉、中原を皮きりに高津、橋、稲田、宮前、生田、柿生、岡上の町村が合併された。二ヶ領用水を中心とした農民の水利組合は、工業用水の必要性から廃止され、水利権は市に移管された。戦争が工業都市・川崎を造ったといえる。

さらに、川崎全体が軍事基地化されていく。昭和十五年九月、馬絹、梶ヶ谷、作延、土橋、犬蔵のそれぞれの地区の農民が宮崎小に

集められ、陸軍から「一年以内の立ち退き」を命令された。坪あたり二円で、代替地は自分で探すというひどいものだった。

こうして、同十七年に約六百町歩（約六万平方メートル）の農地が接収され、短期教育招集兵の訓練場になり、第一〇一連隊（東部六二部隊）が移転してきた。

戦後、同部隊の幹部や引揚者らに一人一町歩を坪一円で、払い下げられた。これに目をつけた東急の五島慶太が、坪五百円で買いあさった。土地は「田園都市構想」の発表とともに坪五万円に急騰したのである。

軍需産業都市で、軍事基地だった川崎は、大東亜戦争で徹底的な空爆を受け、壊滅的な被害を受けた。敗戦を迎えた。

さて、市北部の問題として、旧陸軍の「登戸研究所」がある。近代戦に備えようと謀略、情報、化学を研究していた陸軍化学研究所の「秘密戦資料研究室」が昭和十二年、新宿から移転してきたのだ。現在の明大農学部・理工学部と、生田中学校にまたがる三十六万平方メートルの広大な敷地だった。

この組織と研究内容は、一課は

と”を学ぶ市民
 メモをとりながら “戦争の爪あ



無線通信、盗聴機、レーザー光線、宣伝用兵器などの物理関係▽二課は、スパイ用カメラ、毒物、細菌などの生物化学兵器▽三課は、ニセ札づくりなどの経済謀略▽四課は、消音ピストルやガス弾などの実用可能工場——と、担当が決められていた。

しかも、陸軍参謀本部の直屬下に置かれ、陸軍中野学校とも直結。スパイが使う兵器を作る研究所だ

つたのである。

中でも三課は、嚴重に防護された。秘中の秘”で、そこで働いていた工員は招集が免除された。ここでは、中国のニセ札を作っていたのだ。現地でニセ札を使い、軍需物資を大量に買い、インフレを起こすのが目的だった。

同十三年から敗戦まで、実に四十五億元を印刷し、うち二十五億元を使用した。しかし、インフレが進み過ぎて、さほど効果はなかったともいわれている。

また二課では、毒物研究が進められ、ここで開発された遅効性の特殊青酸化合物(ニトリール)が、戦後、大きな影を落とすことになる。あの帝銀事件である。

警視庁は、登戸研究所関係者から事情を聴いた。「青酸ニトリールは、青酸と有機物を合成後、特殊なものを加えたもの。服用して、三〜八分後に死ぬ。昭和十六年に南京病院で人体実験をした」と重大な証言を得た。「最初は嫌だったが、慣れると一つの趣味となった」とまで証言した人もいた。これこそ、戦争は科学者を悪魔に変身させる、典型的な例だ。二課では、この他に枯葉剤や細菌の研究も進

めていた。

昭和十八年には、風船爆弾の製造を始め、十九年十一月から二十年四月までに九千三百発を飛ばし約一千発が米本土に着いている。山火事発生を目的としているが、最後は生物兵器として使う計画だったと考えられる。

同研究所の最後の役割は何だったか。十九年に大本営の長野松代への移転計画に合わせ、同研究所も長野県下に分散移転を進めていた。本土決戦に備えて毒ガス、毒入りチョコレート、レンガ爆弾、細菌の他、細菌戦用ろ過筒など、本土決戦用兵器を製造した。

登戸研究所の職員は約千人、うち半分が地元民だったので、生存者百人のアンケート調査から内部の秘密が、浮かび上がったのである。個人としては、何を作っているかわからないが、点を集めれば線となり、その線を結びと面となり、大きな力となることの確信を得た。

同研究所は、敗戦で解体された。だが、その研究は現在もなお、続いていることを私たちは銘記すべきである。

(担当・伊藤てるよ)

新しい学習チャンスをお探しのとき、グループ活動の充実をお考えのとき

「ステージラインかわさき」が便利です (川崎市生涯学習情報システム)

☎044-233-6250の当事業団「情報コーナー」(川崎区富士見2の1、教育文化会館内)など市内25カ所でご利用になれます。また、情報コーナーでは、専任の相談員がみなさまの学習情報について直接、お答えしています。

お電話でのお問い合わせについても、親切に対応しております。

お近くの市民館、図書館などに設置してある「ステージライン」でもご利用をお待ちしています。

なぜ、生涯学習計画を作るの 地域からの学習権確保に必要

素案市民討議の
疑問とその答え

「なぜ、川崎では生涯学習計画を作るのか」。この発言は、二月下旬から三月上旬に、各区で開かれた「生涯学習市民討議（区民集会）」での参加者の発言です。集会は、「川崎市生涯学習推進基本計画」素案を同調査委員会がまとめたことを受けて、市民の率直な疑問や意見を聞き、調査メンバーが答えると同時に、市民の声を基本計画に生かすため開催したものです。以下はその討議内容で、当口、参加できなかった方々の参考になれば幸いです。

（川崎市教委・前生涯学習推進担当副主幹・伊藤長和）

「生涯学習は、学びたい人が学べば良いのに、こんなに難しいことをなぜ言わなければならないのか」「行政は、民主的な……といいながら、市民をある型の人間にする意図を持っていないか」「国の指導で行っているのか」などの発言が参加者からなされました。これに対して、調査員は、次のように答えています。

「国が始めたから、行っているのではない。むしろ上からの政策に対して、市民の学習権を守るために、地域から作り出す川崎独自の生涯学習計画が必要だと考えています」「生涯学習は、自分に合った方法で行われるのは当然です。市民の自主的、自発的な学習なので、その推進は市民の手で行われるべきものです。しかし、そのための条件整備を図り、積極的に支援するのが行政の役割です。だから計画づくりが必要なのです。」

いつでも、どこでも、誰でも人々は、自分らしく、人間らしく、生きるために学びます。この学びは、人生の一時期の学校教育だけでなく、生涯にわたって自己実現に向け、学び続けます。これが生涯学習の考え方です。人生の各時期に必要な応じて、いつでも、どこでも、誰でもが学べる社会を生涯学習社会と呼びます。

さて、先に紹介しました「生涯学習は、学びたい人が学べば良い」との意見には同感ですが、そのための仕組み作りが、行政への課題なのです。「誰もが学びたい時に学べる」社会の仕組みづくりが今求められています。

このことは、現在学びたくても学べない人々の学習の機会をどう保障するのか、という課題とも重なりあっており重要です。こうした課題を整理して、施策の達成目標を打ち立てるのが計画づくりと言えます。

なぜ、区民集会なのか
ところで、この基本計画の素案は、平成二年度に広範な市民参加のもとに作られた『川崎市生涯学習推進基本構想』を実現させるために、平成三・四年度の二カ年を

かけて研究調査してきました。素案は市民の自由で自発的な学習・文化・スポーツ活動推進への支援のあり方について、まとめています。いうまでもなく、生涯学習の主体は市民であり、この支援計画に市民の意見を反映する必要がありす。

この三年間、「市民シンポジウム」と「区民集会」を開催して、市民参加の機会を重層的に設けて、意見交換を深めてきました。

身近な場所に、活動の拠点として出された意見が、「生活している身近な場所に、学習の拠点整備を」という願いでした。

急激な人口増に伴ない都市基盤整備の必要から学習・文化・スポーツ活動の身近な施設整備が遅れがちで施設設置の要求が強いのです。そのため学校施設開放について、今後一層の促進を期待する多くの意見が出されました。

次に、この他の代表的な意見を紹介します。

高齢社会の学習機会は……
高齢者の社会参加に関する学習計画を▽週休二日制での中高年への対応が必要だ▽現役で働いてい



▲市民討議で率直な意見を述べる市民(麻生市民館で)

る四、五十代の人々に、高齢者と子ども・青年を結びつける役割を期待したい。各世代が孤立しないように▽寝たきり老人や病人の学習とそれを介護する人の学習を▽メディアの発展に伴い宅配情報サービスが考えられる。病院や保健所でも健康に対する教育・学習が盛んになっているし、介護をする

人への学習の機会も増えているので、これらをシステムティックにしたい▽高齢者が自立していくための相談体制や条件整備を行政で

計画素案について

もっと理解しやすいように書いてほしい▽計画素案は立派すぎる▽かなり学習意欲が強い人達向きになっている▽微笑みが出ないし、楽しみがない▽企業の力を結びつけるべきだろう▽市民芸術活動への環境整備への努力を期待したい。

地域教育会議について

この会議の特徴の一つは、委員の公募にある▽地域教育会議の名称を柔らかい表現にできないか▽中学校区の設置ではなく、下駄履きでいけるような、小学校区の設置が望ましい▽地域は多様なものだから、地域教育会議は、一律ではなく、それぞれ独自なものでよい。

生涯学習振興事業団について

事業団ではシルバークレジット開設が計画されているが、企画や運営に市民参加を導入すべき▽事業団に社会教育施設の管理委託をすると、サービスの低下や使用料の値上げがおこらないか▽事業団は、民間の良い面と行政の良い面の両面をあわせ持つ必要がある。

学習機会の拡充について

国際社会の中で、多くの国の言語を学べるシステムを▽在日外国人にも、日本語や他の言語学習の機会が提供したい▽ライフサイクルにあわせた「やり直し」の自己プログラムづくりが自由にできるシステムを▽企業と連携したりカレント講座の開設を▽誰もが学びたい時に学べる市民大学を。

学校週五日制について

現状では、五日制は、子どもにとって「ゆとり」にはならない。

指導要領の改訂が必要▽教師に、「地域に帰れ」というが現状では無理。教師に負担をかけないよう、市民自ら行うべき▽子どもの広場の指導員を強制的に割り与えられたが、本来、子を持つPTAが担当すべきだろう▽学校週五日制は、子どもの意見をどうやって吸い上げるかが問題だ。

縦割り行政克服が急務

三年間、「市民シンポジウム」と「区民集会」を三十三回開催してきました。ここで共通して、数多く出された意見に、縦割り行政への不満と、その克服への要望があります。

生涯学習は、総合行政ですから、

行政間の密接な連携なしには、その推進・支援は不可能です。市民の多様なニーズに応える多様な生涯学習推進の仕組みは、縦割り行政の克服により実現できるということができます。

「川崎らしさ」を求めて多くの市民の皆さんと一緒に創りあげてきた「構想・計画」ですが、これを実現するためには、今まで以上に社会教育の発展・充実が必要だと発言された方がたくさんいました。とても嬉しい意見でした。

また、市民参加(参画)の道も今まで以上に開かれて、市民と行政のパートナーシップによる活動が展開される必要があると指摘されています。こうした多くの意見を大切にしていきたいと思えます。

生涯学習は、生涯にわたる発達保障という人もいます。生涯学習は、人々の生涯にわたる学習権の保障だと説明する人もいます。

でも生涯学習は、人々の心を解放する営みなのですから、楽しむなければなりません。生涯にわたる楽しみを、自分自身の手で、あるいは地域の方々と一緒に創り出していただきたいと思えます。

中高年学習へ「市民アカデミー」など10本柱

川崎市生涯学習振興事業団の新年度事業

当事業団の平成5年度の事業計画が決まりました。「生涯学習のまちづくり」に少しでもお役に立つ事業をめざします。市民のみなさまのお力添えを心から願います

■「中高年のための、かわさき市民アカデミー(仮称)」を開設します

◇「アカデミー」公開ブレ講座の開設◇

- コ ー ス——①自然観察コース②日本人の生活文化史コース③読書コース
- 受 講 期 間——5月～7月に各コース15回。計30時間
- 対 象・定 員——成人・各コース40人
- 場 所——青少年科学館、日本民家園、大山街道ふるさと館、当事業団研修室
- 受 講 料——6千円

◇「アカデミー」公開講座の開設◇

- コ ー ス——家庭福祉・地域福祉コース ●期 間——10～12月に20回。計40時間
- 対 象——成人・40人 ●場 所——市教育文化会館(予定)
- 受 講 料——6千円

■市民が主体的に運営する市民企画講座を開催します

◇デイコース◇

- テ ー マ——当事業団が募集した市民企画スタッフが協議して決定
- 受 講 期 間——9月～6年3月の午後2時間、7・8回、計約15時間
- 対 象・定 員——成人・50人
- 場 所——当事業団研修室(小田急線新百合ヶ丘駅から徒歩2分、新百合21ビル)
- 受 講 方 法——講義、シンポジウム、見学など
- 講 師——未定 ●受 講 料——無料

◇イブニングコース◇

- テ ー マ——デイコースと同じ
- 受 講 期 間——9月～6年3月の夜2時間、7・8回、計約15時間
- 対 象・定 員——成人・50人 ●場 所——市教育文化会館学習室
- 受 講 方 法——上記コースと同じ ●講 師——未定
- 受 講 料——無料

■情報化社会の暮らしを豊かにする情報技術セミナーを開きます

◇初めてふれるワープロⅠ◇

- 受 講 期 間——5月18日～20日の10～16時、3回、計15時間
- 対 象・定 員——成人・30人 ●場 所——市教育文化会館学習室
- 受 講 方 法——1台のパソコンを2人で使い実習
- 講 師——北村恭子さん(科学技術リテラシーセンター)
- 受 講 料——7千円(他に教材費千5百円)

◇初めてふれるワープロⅡ◇

- 受 講 期 間——6月16～18日の10～16時、3回、計15時間
- ★対象・定員、場所、受講方法、講師、受講料は「ワープロⅠ」と同じ

◇さらにワープロを使いこなす◇

- 受講期間——7月14～16日の10～16時、3回、計15時間
- 対象・定員——成人、15人
- 場 所——市教育文化会館学習室
- 受講方法——1人1台のパソコンを使い実習
- 講 師——上記セミナーと同じ
- 受講料——1万円（他に教材費千500円）

◇初めてふれるパソコンⅠ◇

- 受講期間——9月7～10日の10～16時、3回、計15時間
- 対 象——成人・30人
- 場 所——市教育文化会館学習室
- 受講方法——1台のパソコンを2人で使い実習
- 講 師——上記セミナーと同じ
- 受講料——7千円（他に教材費千500円）

◇初めてふれるパソコンⅡ◇

- 受講期間——10月12～15日の10～16時、3回、計15時間
- 対象・定員——成人・30人
- 場 所——市教育文化会館学習室
- 受講方法——上記セミナーと同じ
- 講 師——上記セミナーと同じ
- 受講料——7千円（他に教材費千500円）

◇さらにパソコンを使いこなす◇

- 受講期間——11月16～19日の10～16時、3回、計15時間
- 対象・定員——成人・15人
- 場 所——市教育文化会館学習室
- 受講方法——1人1台のパソコン使い実習
- 講 師——上記セミナーと同じ
- 受講料——1万円（他に教材費千500円）

■女性、中高年者の生活設計に有利な資格取得支援セミナーを開催します

◇日商簿記2級◇

- 受講期間——9月～平成6年2月の18～20時半、20回、計50時間（詳細は未定）
- 対象・定員——成人・30人
- 場 所——当事業団研修室
- 講 師——未定
- 受講方法——講義と実習
- 受講料——3万円（他に教材費3千円）

◇日商簿記3級◇

- 受講期間——6年3～6月の18時～20時半、12回、計30時間
- 対象・定員——成人・30人
- 場 所——当事業団研修室
- 講 師——未定
- 受講方法——講義と実習
- 受講料——1万8千円（他に教材費2千円）

◇宅地建物取引主任◇

- 受講期間——5月8日～10月9日の13時半～16時半、22回、計66時間
- 対象・定員——成人・60人
- 場 所——当事業団研修室
- 講 師——浜田正夫・住宅問題研究室長ほか
- 受講方法——おもに講義
- 受講料——3万3千円（他に教材費3千円）

◇行政書士◇

- 受講期間——6月20日～9月26日の10～16時、13回。計63時間
- 対象・定員——成人・60人
- 場 所——当事業団研修室
- 講 師——桐生豊・日本経営教育センター
- 受講方法——おもに講義
- 受講料——3万円（他に教材費1万6千円）

◇社会保険労務士◇

- 受講期間——5年10月～6年5月の13時半～16時半、27回、計81時間
- 対象・定員——成人・40人
- 場 所——当事業団研修室

- 受講方法——おもに講義
 - 講師——日本経営教育センター社労士
 - 受講料——5万円（他に教材費2万5千円）
- ◇TOEIC検定◇
- 受講期間——6年2月～5月の土曜日午後、15回。計30時間（詳細は未定）
 - 対象・定員——成人・30人
 - 場所——当事業団研修室
 - 受講方法——実習
 - 講師——未定
 - 受講料——2万円（他に教材費6千円）

■生涯学習についての情報の収集を強化し提供します

生涯学習情報システム「Stage Line」が昨年9月開通し、生涯学習についてのさまざまな情報を提供してきました。今年度は、生涯学習に関係する各種刊行物、文献、雑誌の収集をさらにに行い、人材・施設・グループ・各種催しなどの情報を体系的に収集、整理分類して、市民のみならず、より利用しやすいように努めます

■生涯学習情報誌 月刊「Stage Up」の発展に努力

「市民がつくる 市民が学ぶ 市民が拓く」を編集方針の基本に生涯学習情報誌・月刊「Stage Up」は、歩み続けます。好評の市民が市民にインタビューする「いまを話す」や市民の活動を生き生きと伝える「はりきってます グループ紹介」をより充実させると同時に、さらに市民参加の企画ページを増やすことが出来るよう、市民のみならずのご支援をお願いします。また、小誌の無料配布場所も民間のご協力もあり、約140カ所に増えました。読者の方々から「身近な所に置いてあり便利」との声が寄せられていますが、いっそうの拡充のため、民間事業者のご理解をお願いします。小誌の企画や内容についてのご意見をお待ちしています

■生涯学習に関する調査研究

「生涯学習プログラム開発委員会」を設置し、先導的で実験的なプログラムに関する調査研究を4月から6年3月までに6回開催します。委員は学識経験者、市民、行政の6人

■芸術・文化イベントを開催します（詳細は2ページもくじ下と17・18ページに掲載）

- スウィートサマー・コンサート フィルハーモニック・ヴィルトゥオーゾ・ベルリン&吉野直子 6月26日(土)麻生文化センターホール。
- スィングジャズ・コンサート グレンミラーUK・サウンド/レイ・マックヴェイ楽団9月18日(土)教育文化会館ホール。
- シアター・ピース/短歌とドラマを音楽で綴る“サラダ記念日協奏曲” 6年2月26日(土)エポック中原ホール

■「遊びの広場」をさらに発展させます

昨年に引き続き、毎月第2土曜日に市内全小学校・養護学校116校で「遊びの広場」を実施し、学年の枠を超え、地域に溶け込む遊びと交流を創造します

■市内の小中学生と国内の各友好都市との体験学習・交流を行います

- 岩手県東和町に小学生80人が7月29日から3泊4日で訪問
- 北海道中標津町へ小中学生40人が8月23日から3泊4日交流
- 宮崎県の日向市、南郷村など8市町村へ小中学生100人が7月26日から5泊6日の旅

伝説に生きる 不滅のグレン・ミラーサウンドをあなたに!

グレン・ミラーU.K.レイ・マックヴェイ楽団



日時——**9月18日(土) PM.6時30分**開演

会場——**川崎市教育文化会館大ホール**
(JR川崎駅下車、東口から徒歩15分 バスあり)

出演——指揮者/レイ・マックヴェイ 特別ゲスト/ジーク・ザーチィ(トランペット)
ヴォーカル/スウィング・シフト
ダンス/ジャイヴィング・リンディ・ホッパーズ

曲目——茶色の小瓶、ムーンライト・セレナーデ、真珠の首飾り、
イン・ザ・ムード、セント・ルイス・ブルース・マーチ、他

前売り——**6月8日(火)**開始

入場料——S席 5,000円、A席 4,000円、B席 3,000円

問い合わせ **044-952-5000**の川崎市生涯学習振興事業団

●主催 (財)川崎市生涯学習振興事業団
川崎市教育委員会

シアター・ピース…短歌とドラマを音楽で綴る

コンチェルト

サラダ記念日協奏曲

日時——**6年2月26日**(土)午後**3時**開演

会場——**エポック中原**(JR南武線武蔵中原駅前)



原作——**俵 万智**

脚本・演出——**ふじたあさや**

音楽——**吉岡しげ美**

出演——**俳優館**

入場料——**3,000円**(全席指定)

前売り——**11月30日**(火)発売開始

問い合わせ **044-952-5000** の川崎市生涯学習振興事業団

「寒いね」と話しかければ
「寒いね」と答える人のいるあたたかさ

愛—仕事—ふるさと—その間を揺れ動く
「俵 万智」というフィクション

●主催 (財)川崎市生涯学習振興事業団 川崎市教育委員会

学習・文化情報

探していた講座がある

講座・講演

〔工業技術英語セミナー
中級講座◆産業振興会館〕

5月11～7月27日の毎週火
曜18時半～20時半。全12回。

コンピュータ、テレコミュニ
ケーション、エレクトロ
ニクス・デバイスの技術を
題材に文章を書く。対象は
初級コース受講者か、基礎
的な英語が理解できる方。

定員先着25人。受講料23
350円。(KRD会員は1
8350円)。教材費は別途。
詳しくは☎5481411
7の産業振興財団情報開発
課(主催)。

〔中国語講座〕入門コー
ス◆産業振興会館〕6月1

11月16日の毎週火曜18時
15分～20時15分。全22回。
初心者を対象に基礎から学
ぶ。講師は劉軍さん。受講
料22000円、テキスト

代は別途。定員20人(抽選)
申込みは5月21日までに主
催の国際交流協会。☎24

市外局番のないものは044

学習・文化情報

519881(担当:樋口)
〔桜美林大学公開講座◆
桜美林大学〕5月13～7月

1日の毎週木曜。午前の部
11～12時半(初日は10時45
分より開講式)、午後の部13
時15分～14時45分。テー
マは「特別講演」「唄と笑い
と40年」「ハーブ音楽の世
界」など。バス旅行もある。

講師は同大の大野一男学長、
女優の楠トシエさん他。受
講料全回通算五千円(桜美
林在校生の父母4千円)、単
独参加1回千円。旅行費は
別途。申込みはハガキに名
前・フリガナ・住所・郵便
番号・電話番号を記し〒1

94102町田市常盤町3
758の同大外国語センタ
1。☎042719712
661(内276)同大学
はJR横浜線淵野辺駅から
スクールバスまたは神奈中
バス。

〔①油絵②ギター③マン
ドリン④ヨーガ⑤ジャズダ
ンス◆県立高津青少年会館〕

①は5月12～26日の毎週水
曜。全3回②は5月12～6
月9日の毎週水曜。全5回
③は5月12～6月9日の毎
週水曜。全5回④は5月13
～27日の毎週水曜。全3回
⑤は5月13～6月3日の毎
週木曜。全4回。いずれも
18時半～20時半。定員は①
～③が10人④は15人⑤は20
人。申込みは☎84412
101の同館。

〔行政書士資格試験準備
セミナー◆生涯学習振興事
業団〕6月20～9月26日の
毎週日曜10～16時。全13回。
対象は市内在住在勤の方。
定員先着50人。受講料3万
円、教材費16000円。
申込みは5月17日10時より
☎95215000の当事
業団。

〔初めてふれるワープロ
◆教育文化会館〕6月16
18日10～16時。全3回。使
用機種はNEC・PC98
01。対象は市内在住在勤
の方。定員30人(抽選)。受
講料7千円、教材費1500
0円。申込みは5月18～29

日に☎23312650の
生涯学習情報センター(主
催)。
〔ヨガ入門講座◆サンラ
イフ川崎〕5月28～7月30
日の毎週金曜9時半～11時
半。全10回。講師は永井悦
子さん。対象は中高年齢労
働者・家庭女性ほか。定員
先着30人。受講料1540
円、保険料500円。申込み
は5月12日から☎3441
1777の同館。同館は京
急八丁畷駅より徒歩7分。

〔ワークセミナー(勤労
女性大学講座)〕地球化時
代のワーキングデザイン◆
県立勤労女性会館〕5月26
11月8日の毎週水曜18時
15分～20時15分。但し各期
末3回はゼミで月・木。全
26回。テーマは「男優位の
物語は続くか」(大森彌東
大教授)、「働き方いろいろ」
(松永真理とらばいゆ編集
長)ほか。受講料全期51
50円、半期2575円。
申込みは☎5111045
1の同館か各労働センター。

〔福祉講演会◆川崎授産
学園〕5月18日(火)10
12時。テーマは「ポランテ
ィア活動〜いつどこで何を
するのか」。講師は淑徳大教
授の秋場正さん。定員50人
申込みは☎9541501
1の同学園。

〔手話入門講座◆川崎授
産学園〕5月26～7月7日
の毎週水曜10～12時。講師
は森都さん。手話サークル
もりの会協力。申込みは5
月17日より☎954150
11の同学園。
〔①幸シルバー教室②幸
ミセスサロン〕初夏のにお
りとともにさわやかミセス
に◆幸市民館〕①は5月12
17月21日の毎週水曜13時
半～15時半。地域の歴史・
健康・趣味などを取り上げ
る。対象は区内在住在勤で
60歳以上の方。定員50人。
受講料は無料だが、教材費
は実費。申込みは5月7日
10時から②は5月19～7月
14日の毎週水曜10～12時。
テーマは「自分を輝かせま

学習・文化情報

参加したい催しがある

ギャラリー

しよう。対象は区内在住の勤の方。定員40人。受講料無料。申込みは5月12日10時から。いずれも☎54113910の同館。

「ギャラリー幸」5月7日：古屋セツ個展▽14日：心象作家展▽28日：異色作家展。展示時間は11～18時。木曜休廊。同画廊はJR川崎駅西口より徒歩5分。☎55518181。

「川崎市民ギャラリー」4月30～5月5日：書道部35周年展（NKK京浜製鉄所書道部）▽21～26日：和紙ちぎり絵展（和紙ちぎり絵鈴美会）▽6月4～9日：武子フラワー教室展（武子フラワー教室同好会）。同画廊はJR川崎駅東口より徒歩5分、銀柳街内。☎2119832。

「川崎市市民ミュージアム」7月4日まで：TAR O 萬華鏡！岡本芸術の華麗なる創造世界。岡本太郎さんが、自作多数を川崎市に



寄贈されたことを記念する展示会。

代表作品の他に版画やレリーフ、岡本さんデザインの家具や陶器、テキスタイルなども展示。またアトリエと応接室を再現。月曜休館。☎75414500。

「ギャラリー会館とどろき」5月7～20日：六合会作品展（絵画）▽22～31日：エジプト展（写真など）。☎73313333。

「中村正義の美術館」5月15～6月20日：正義コレクション展Ⅲ。すばらしい芸術活動をしながらも世に埋もれている作家の発掘という意味で集められた作品。

開館時間は11～17時。月・火曜休館。入館料は一般500円（10人以上4500円）、学生300円（同2500円）、小中200円（同1500円）。同館は細山バス停より徒歩3分。☎95314936。

「ギャラリーぱれっと」5月28～6月3日：設楽享良作陶展。川崎市出身で国展新人賞受賞の新進気鋭の陶芸家。白磁、染付など百点を展示。開館時間は11～18時。期間中は無休。同ギャラリーはJR川崎駅東口

催し

「赤いふうせんまつり・バザー◆新城児童公園」5月16日（日）10～15時。雨天時は23日。雑貨、日用品などの不用品バザーと、焼きそば、豚汁などの模擬店バザー用品の提供は☎93512678の工房赤いふうせん（担当・岡本）。多摩区社会福祉協議会後援。会場はJR南武線武蔵新城駅南口より徒歩5分。

「さつき品の品種展示◆緑

より徒歩6分。☎23318283。他にパレール一階にも特設会場を設ける。



「化センター」5月18～6月6日。約百品種を開花にちじて展示。詳しくは☎9112177の同センター。

「病害虫の防ぎ方講習会◆緑化センター」5月26日（水）13時半から。定員30人（抽選）。受講料無料。申込みは5月20日までに、往復ハガキに講習会名・住所・氏名・電話番号を記し、〒214多摩区宿河原614-1の同センター。☎91112177。

「ゲームよりおもしろく

教室◆東芝科学館」5月8日（土）9時半～11時半と13～15時の2回。電気や電子の原理と仕組みなどを、講座と実験でわかりやすく解説。「自分の声でサザエさんロボットを動かす」がテーマで「音声認識」を学ぶ。対象は小学生以上。定員各回先着120人。入場無料。申込みは☎54912201の実験教室担当。同館は川崎駅よりバス10分。小向（市バス）または小向交番前（東急バス）バス停下車1分。

「ゆずりは園祭り◆ゆずりは園」5月16日（日）10時半～14時（雨天決行）。バザー、模擬店、同園自慢の焼きたてのパン、さをり織りの袋物、アトラクションなど。詳しくは☎28712822。同園は観音町二丁目バス停前。

「自然観察会①花のつくりく黒川をのんびり歩こう②花に集まる虫たち」①は5月23日（日）10時、小田急線黒川駅改札集合。小雨決行。指導は植物研究家の梶山三千男さん。対象は小

学2〜成人。定員20人。申込みは5月15日から②の会場は生田緑地・青少年科学館。6月20日(日)9時半〜14時半。小雨決行。指導は谷晋東海大助教授。対象は小学1〜成人。定員15人。申込みは5月25日から。いずれも☎92214731の青少年科学館(主催)。

〔市民天体観望会〕青少年科学館 5月8日19時〜20時半。主な対象は木星・星雲・星団など▽15日19時半〜21時。主な対象は木星・星団など。申込み不要。雨・曇りの時は中止。小学生は保護者同伴。詳しくは☎92214731の同館。

コンサート

〔MOJAMOJAJA祭 産業振興会館〕6月13日13時開場。出演はヒタシカ、ティンガティンガ隊、水水橋ほか。イラストラレーターの須賀理恵さんと赤いふうせんのスタッフが作ったタペストリーをバックに日本、アフリカの音楽、踊りを楽しむ。楽器を持ち込ん

で合奏も出来る。ハンデを持った方の社会参加を考慮のお祭り。入場料は前売り2千円、当日2500円。ハンデを持った方をご招待します。詳しくは☎93512678の工房 赤いふうせん内、クロス・ザ・ポーター実行委。

〔第8回まちの音楽会 室内楽名曲シリーズII〕バツハの息子たち◆エポック中原 5月16日(日)17時開演。出演はフルート・新谷要一▽オーボエ・小畑

善昭▽ヴァイオリン・奥田雅代▽ヴィオラ・馬淵昌子▽チェロ・菊地知也▽チェンバロ・新谷久子。曲目はヨハン・クリスティアン・バッハのフルート・オーボエ・ヴァイオリン・ヴィオラと通奏低音のための五重奏曲ニ長調 作品11の6他。入場料3千円(前売り2千800円) 学生2千円。問い合わせは☎86614506のタウンライブ(主催)。

お知らせ



生涯学習団体助成

〔財〕第百生命フレンドシップ財団 地域における生涯学習の振興や普及啓蒙事業の一環として、1団体につき20万円を150団体に助成。条件は会員が20人以上で、設立後2年を経過している民間団体(平成3・4年度に同財団から助成を受けた団体は除く)。助成対象は芸術、教養、スポーツ、健康、自然、福祉、コミュニ

なせつくられるか、映画『野いちご』をみて、葛藤への挑戦。講師はいずれも東大助教授の小森陽一さん。先着百人。希望者は小田急線新百合ヶ丘駅より徒歩3分の当事業団事務室へ直接来館。☎95215000。

ニテイ、国際交流などの分野で7月〜来年6月までに実施する事業。助成の時期は平成5年7〜8月を予定。締切りは5月12日(消印有効)。申込み用紙の請求・問合わせは〒182調布市国領町4-34-1の同財団事務局。☎042418918191。

〔講座記録の無料配布〕生涯学習振興事業団 当事業団主催「市民企画講座」現代人の、心のブラックホール」の記録(1月23、30日実施分)。内容は「孤独は

スポーツ



〔武道の指導〕石川記念武道館 剣道(火・木の夜間)▽柔道(火・木・土の夜間)▽なぎなた(火は午後A・土は午後B)▽少林寺拳法(木・土の夜間)▽合気道(火・土の夜間)▽空手道(土の夜間)▽婦人剣道(火・土の午前。午前は10〜12時半、午後Aは14〜16時半、午後Bは15〜17時半、夜間は18〜20時半。対象は小学生以上。入館料学生は50円、大人100円。☎54410493。

スポーツウェア、室内シューズ持参。入館料は15歳以上の学生60円、大人120円。☎55513011。〔トレーニング〕快汗、それは健康への第一歩◆サンライフ川崎 平日9〜21時、日曜祭日9〜17時。月曜休館。各種筋力トレーニング機器、全身持久力・心肺機能・柔軟性を測る体力測定器具などがある。専門のトレーナーが個人の年齢・体力に応じた運動の個別指導を行う。対象は高校生以上。団体(10人以上)でトレーニング講座希望の時は事前に連絡。使用料は個人(1人1回)200円、団体(同)1500円。詳しくは☎34411777の同館。同館は京急八丁畷駅より徒歩7分。

〔のびのび体操〕幸スポーツセンター 毎週金曜18時半〜20時。全身をほぐす体操やスポーツマッサージを行う。対象は中高年者。

〔ストレッッチ体操〕サンライフ川崎 5月7、21、6月4、18、7月2、16日。いずれも金曜10時半〜12時。軽い音楽に合わせて筋肉の緊張をほぐす。定員50人。参加費3千円、保険料400円。申込みは火・土の12〜21時に主催のファンタススポー

学習・文化情報

楽しいグループがある

会員募集

ツクラブ。☎27714123(担当・岡田)。会場は京急八丁駅より徒歩7分。

●山野草の会《中原区上

小田中78、小菅昇代表》ひとりでは、なかなか外にできるのがおっくうに成りがちです。沢山のお友達と一緒に、レッツ・トライ・ウォーキング。月1回第2日曜8時半〜17時、主に東京・埼玉・神奈川を山野草の分布、生態、木々の名称等の学習をしながら、1日5〜6キロ(約1万歩)歩きます。講師に元柔道選手で、東海大学助教授の山下先生をお呼びしたりします。年会費2000円。交通費は自己負担です。連絡先は☎76617965の同代表宅。

●楠の木《中原区中丸子

1155市営住宅21309、池田昌代表》家族の為に一針でも暖かい物を縫って、着てもらいましょう。タンスの中にねまわっている着物も生かしてみましよう。

第2・4土曜前半9時半〜12時、後半13〜16時。(午前、午後だけでも可能です)。会費3500円。教育文化会館で。連絡先☎41114611の同代表宅。

●江戸芸かっぽれ《川崎

区渡田新町31118、川原林かつ子代表》美容と健康を兼ね、伝統芸のかっぽれに挑戦してみませんか。みんなで楽しく踊って、隠し芸にも最適です。月4回水曜14〜15時半、教育文化会館4Fで。連絡先☎36610279の同代表宅。

●ウッドイクラフト研究

会《多摩区菅馬場31013、阪口信雄代表》はじめの方も木工に親しめるよう、作品を作成しながら木工の基本を学びます。女性の方も大歓迎。講師は日本D・I・Y理事一級建築士、本間昭先生です。月1回原則として第1土曜(会場の都合で変わることも)13〜17時、宮前文化センター4F実習室で。連絡先は18〜20時の間に☎94411225の同代表宅まで。

●仏教美術継続会《多摩

区細山41512、松崎光栄代表》思わず引き込まれてしまう仏教美術への散歩路。講師、武者小路稔先生(和光大学名誉教授)の楽しい『仏教美術』のお話を聴きにいらっしやいませんか。第2・4木曜13時半〜15時半、川崎市麻生市民館岡上分館で。会費3000円(月額)。連絡先は☎95510995の同代表宅か☎95510051の山田宅へ。

●宮前詩の会《宮前区宮

前平2131221204橋本方、山本聖代表》潮流詩派村田先生、麻生先生にご指導いただき、初歩からレベルにあわせて研さんが積み重ねます。どうぞお気軽にご参加下さい。第3土曜10〜12時、宮前市民館4Fで。連絡先は☎85419720の同代表宅。

●韓国・朝鮮を知る会

《多摩区南生田112117、佐藤恵子代表》差別や偏見をなくすことは、まず、お互いを知ることから始まります。「市民として、地域で共に生きていく」以前に、

歴史的な事実も知ることからはじめましょう。月1回第3か第4土曜14〜16時、宮前市民館1Fグループ室で。連絡先は18〜20時の間に☎95319581の同代表宅まで。

●あさおポップスコラ

ス《麻生区万福寺2111101406、西村真奈代表》フォークソング、ジャズから最近のポップスまで、懐かしの歌、心に響くメロディーと一緒に歌いましょう。大好きな曲があるかもしれませんが、レッスンは軽く体をほぐし、西村勝行先生のピアノに合わせ発声練習からスタート。現在、ピートルズメドレーを練習中です。特に男性会員大歓迎。毎週火曜19〜21時、麻生市民館か青葉幼稚園で。連絡先は☎96616986の同代表宅。

●練功十八法の会《川崎

区川中島11116、三田村照治郎代表》六年間続いている会です。気功法の入った軽い体操です。女性、高齢者でもできる体操です。第1・3木曜13〜15時、

川崎市体育館2F展示室で。会費1500円(月額)。連絡先は☎26611738の同代表宅。

●かっつび太鼓西御幸

《幸区小向西町4147、広川安雄代表》日本伝統の和太鼓のヤグラ太鼓を名の通り小中学生・大人が自由に集まり、心身共に楽しく練習しています。一緒にどうぞ。毎週土曜18時半〜20時半(毎週第2土曜は小学生中心で14時)、西御幸小学校体育館で。連絡先は☎54411379の早坂宅まで。

●竹ノ子写真研究会《宮

前区小台11818、岸本修三代表》写真の撮影、批評会を行いながら技術の修得向上をはかって下さい。会費1500円(月額)。50歳以上の方が中心です。指導は写真家の吉田力夫先生。第1・3木曜、宮前市民館で。連絡先は月曜以外の毎日☎86610409の同代表宅まで。

「学習・文化情報」の投稿欄の掲載料は無料です。



会員募集欄掲載で 新たに2人が入会

中原区丸子通1、清水玲子さん
先般の「ステージ・アップ」に私共の木彫同好会「楓」の会員募集を載せていただきました。おかげさまで、新しく2人の方が入会されました。10人ほどのささやかな会ですが、楽しく活動しております。これから「ステージ・アップ」を愛読させていただきます。ご発展をお祈りいたします。

ミニニュース

「やらせ」と「再現」の境界線をどこに求めるか

この二、三月に、テレビの「やらせ」が問題になった。芸能番組での「やらせ」は常識化され、少女をスターにするため、プロダクションと合意の上、二人三脚で行う「やらせ」に目くじらを立てることもない。沖縄の珊瑚礁に落書きをした日刊紙のカメラマンもいたが、これは捏造であり許せない。

今回の「やらせ」事件は、NHKのドキュメンタリー番組だ。「やらせ」や「捏造」とは性格を異にするような気がする。

「事実の小説より奇なり」のコトワザを引用するまでもなく、優秀な記録映画や記録番組は、秀作の劇場映画やドラマを圧倒することも少なくない。

ドキュメンタリーは、多くの制約を乗り越えて制作される。問題の当事者に真実を語らせるだけでも容易でない。辺地の取材には、膨大なスタッフや資金、資材、時間を必要とする。気象や自然現象がスタッフの事前取材と同じ条件にならないまま、取材の打ち切りを迫られる事もしばしば。

ところで、無かったことを有ったように見せるのが「やらせ」。それから、実際にあった事柄だが、取材日程中には無かった、起こらなかった、

あるいは、「闇の世界」などの出来事のため、映像化できない場合は、どうすべきなのか。

これまでに、ドキュメンタリー映画の秀作に「再現」という手法を用いたものがあつた。巨匠・市川崑監督作品の「東京オリンピック」は、外国の体操・金メダリストの演技をスロー撮影で、美しい映像に仕上げた。だが、これは別の日に撮影したものという。これも「やらせ」で悪いことなのか。「やらせ」と「再現」の境界線が判然としない。

ドキュメンタリー映画・テレビを通して、環境問題や平和問題、社会的組織について警笛を鳴らし、世論を喚起することは国民の「知る権利」の上からも大切なことだ。

「やらせをした」とスタッフを処分し、陳謝して「一件落着」では、質の良いドキュメンタリーは生まれない、と多くの識者が危惧している。

編集後記

この4月に長男が小学新1年生になったヤングママが、出版社やビデオ会社から送られた、たくさんのダイレクトメールを前に浮かない表情▼その理由の一つにプライバシーの問題があり、もう一つが、落ちこぼれの不安をおるPR文の影響▼中には「好奇心と学習は、紙一重」と生涯学習にも使える楽しさを強調したCMも▼今秋「かわさき市民アカデミー」が開設され、近い将来「川崎市民大学」が創設されます▼それは市民に「楽しさと好奇心」をもたらす内容になるはずです▼生涯学習の「質の高い学習内容」とは、「受講者が生き生き生活するためのエネルギー」なのですから▼さて、今号は24ページ建てで「市民生涯学習推進基本計画第一次素案」の市民討議に、2ページを割きました▼市内7区の討議に出た市教委の伊藤さんに、ご苦労をかけた▼また、新年度の当事業団主要事業も掲載し、このうち芸術・文化事業は3本です▼前年度がら本なので「パブル弾けて、文化は地盤沈下」▼当事業団の事業は、全体としては拡充され「事業団だけが文化事業をやっているわけではない」と言えなくもないわけですが……。

発行 財団法人 川崎市生涯学習振興事業団

〒215 川崎市麻生区万福寺一の二の二 新百合21ビル
電話(〇四四)九五二一五〇〇 FAX(〇四四)九五二一三三〇
編集人 田 中 園

同事業団生涯学習情報コーナー

〒210 同市川崎区富士見二の一の三 教育文化会館一階
電話(〇四四)一三三一六二五〇

楽しさを贈る、 さいか屋の商品券



さいか屋(川崎店・横須賀店・藤沢店)・町田ジョルナ
サイカマート、及び三越提携店グループでご利用頂
けます。
☆1,000円より、ご予算にあわせて
各種ご調整いたします。

■川崎店・1階商品券コーナー



さいか屋川崎

〒210 川崎市川崎区小川町1番地
TEL. 044-211-3111

健康に役立つアルカリオン水をご家庭へ...



アルカリオン整水器 アルカリオン整水器

mine balance *mine Soft*
ミネバランス ミネソフト

標準小売価格 148,000円 標準小売価格 198,000円

(いずれも消費税・取付け工事費は別です)

体がアルカリ性だと健康で、酸性なら危険信号であることは広く知られています。

いま、飲料水への関心が高まり、水道の蛇口に浄水器を付けるご家庭が多くなっています。

しかし、浄水器でアルカリ水はつくれません。家族の健康を考えるなら、アルカリオン水をつくる整水器です。2週間、無料でお試しになれます。

無料パンフレットの請求、商品のご注文、お問い合わせは
◆ 月～土曜日 9～20時

0120-096-608

AKAI 赤井電機株式会社

代理店 株式会社ヒューマンテック・コーポレーション
〒215 川崎市麻生区万福寺1-8-7-306